



第89号

# レッツスポーツ!!

## Let's Sports!!

平成21年9月1日  
発行  
財団法人 稚内市体育協会  
会長 門間 松美  
〒097-0027 稚内市富士見4丁目  
稚内市総合体育館内  
(財) 稚内市体育協会事務局  
TEL28-1111/FAX28-1112  
E-mail: taikyo@wakkanai-sports.or.jp  
URL http://www.wakkanai-sports.or.jp



### 財団法人稚内市体育協会創立50周年 記念事業華やかに 幕開けは友好都市スポーツ交流

手島教育長を団長に、バレーボール(女子)スポーツ少年団員9人と、剣道(男子)スポーツ少年団員6人、高校生リーダー1人少年団指導者2人のほか、引率2人の総勢21人の代表団は、7月30日(木)に東京直行便で羽田を経由し、沖縄那覇で1泊、31日に石垣に到着しました。滞在中は、石垣のバレーボールと剣道のスポーツ少年団との交流試合のほか、

15回目となった友好都市沖縄県石垣市とのスポーツ少年団による交流、今年も記念事業に位置づけ、通常派遣枠に5人を追加して派遣しました。

#### 石垣市とのスポーツ交流

財団法人稚内市体育協会創立50周年記念事業が、沖縄県石垣市とのスポーツ交流を皮切りに、メインイベントで稚内市のメモリアル事業となる、プロ野球イースタンリーグ公式戦、そして、サハリン友好都市とのスポーツ交流事業が次々とおこなわれました。記念事業の中でもイベント的な事業は終了し、加盟団体が実施する冠をつけた事業実施のほかは、体育の日に挙行する記念式典と記念誌発行のみとなりました。

#### サハリン州友好都市スポーツ交流

もう一つの交流事業として、

大濱石垣市長への挨拶をはじめ、社会・文化教育施設見学および体験学習、観光名所めぐりなど、見るもの聞くもの初めての経験に驚きの毎日となりました。特に8月2日のキャンプ体験では、台風の影響による大雨がテント内に流れ込むアクシデントが発生し、やむなくキャンプを中止してホームステイの家庭に避難したことも、今では楽しい思い出となりました。8月4日に石垣を出発、那覇に1泊の後、5日には全員元気に稚内空港に降り立ち帰路に着きました、手島団長、久我副団長、指導者、リーダーの皆さんご苦労様でした。そして何よりも、親身にお世話をしてくれた石垣市のホストファミリーの皆さんには心から感謝します。

では、稚内市国際文化交流協議会(会長：岡本亀美)と体協加盟の稚内卓球協会(会長：本吉昌治)が開催した「稚内・サハリン友好卓球大会」を記念事業の一環に位置づけ、参加記念品の贈呈ほかの支援を行いました。8月16日(日)宝来地区の市体育館では、コルサコフ・ユジノサハリンスク・ネベリスクからの選手団(団長：キム・ボン・ヘンほか14名)が、地元会員との親善試合を行ったほか、熱戦後の和やかな雰囲気の中で肉パティーは、更なる交流を深めました。



#### やっぱり大物の中田選手

《イースタンリーグ公式戦》

8月8日、稚内大沼球場では3817人の市民や近隣町村からの観衆が、15年ぶりの開催となったプロ野球(イースタンリーグ公式戦・北海道日本ハムファイターズVS東京読売ジャイアンツ戦)を楽しみました。朝霧から好天の兆しが見え、稚内にしては無風とい



う絶好の野球日和となったこの日、早朝からファイターズベンチとなる三塁とレフト側の受付に並び始めた多くの日ハムファンは、開場時間の9時30分頃には場所の確保に長蛇の列をつくりました。11時の試合開始を前に、横田稚内市長から、両チームの歓迎と久しぶりの観戦を楽しんでという旨の挨拶を引き続き、地元野球少年団員による始球式が行われ「プレーボール」となりました。

#### 「ファイターズベンチ」でちびっこ大喜び

次代の野球選手や、ファン獲得を目指すファイターズ球団では、子どもたちとのふれあいの場を多くする



当初からファイターズ球団に依頼していた少年野球教室も実現しました。両軍が稚内入りした7日には、公式練習が終了した午後3時30分から、水上善雄監督ほかファイターズの全選手が参加する中で行われ、市内二つの野球少年団と野球部をもつ5校の中学校から参加した148人の団(部)員が、投打におよぶプロ選手の技術や心構えなどの手ほどきを受けました。

目的で、「ファイターズてっぺんまつり」とネーミングしました。試合開始前の「選手サイン会」をはじめ、ベースを全速力で駆け抜ける「ベースランニング」、選手と一緒に守備に着く「キッズスターター」、5回裏終了時の「カビー(二軍のマスケット)の大運動会」など盛りだくさんのイベントで、特にちびっこたちを楽しませてくれました。



#### 少年野球教室に148人の小中学生が参加

当初からファイターズ球団に依頼していた少年野球教室も実現しました。両軍が稚内入りした7日には、公式練習が終了した午後3時30分から、水上善雄監督ほかファイターズの全選手が参加する中で行われ、市内二つの野球少年団と野球部をもつ5校の中学校から参加した148人の団(部)員が、投打におよぶプロ選手の技術や心構えなどの手ほどきを受けました。